

令和 5 年度

学校評価報告書

岩見沢市立南小学校

推進校	岩見沢市立南小学校							
校長名	出口 哲也				教職員数		33名	
学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特別支援	合 計
学級数	2	2	2	3	2	2	3	16
児童数	56	54	59	72	67	69	20	397
住 所	〒068-0009 岩見沢市9条東2丁目1番地							
電 話	0126-24-2618							
FAX	0126-24-7262							
UR-L	http://www2.city.iwamizawa.hokkaido.jp/kyouiku/school/minami/index.html							
e-mail	minamisv@mc.city.iwamizawa.hokkaidou.jp							

I 学校教育目標

- よく考え探求する子ども
- 美しさに心を動かす子ども
- 健康な体づくりにつとめる子ども
- 認め合い励ましあう子ども

II 中期及び単年度の具体的目標

1 児童・保護者・教職員に問う「めざす学校の姿」の評価目標

- (1) 先生が好き 児童・保護者アンケート（5段階評価 4.5以上）
- (2) 勉強が好き 児童・保護者アンケート（5段階評価 4.5以上）
 - 全国学力・学習状況調査（全国比 115以上）
 - 標準学力検査（偏差値 55以上）
 - 新体力テスト（全国比 100以上）
- (3) 友だちがいる～ 児童・保護者アンケート（5段階評価 4.5以上）
 - QUアンケート（承認得点全国比 110以上）
 - いじめアンケート（友だちに相談する 80%以上）
- (4) 学校が楽しい～ 児童・保護者アンケート（5段階評価 4.5以上）
 - 教職員アンケート（ねらい達成度が高い 5段階評価 4.5以上）

2 学校経営方針達成度

経営方針について 前年度詳細策定時点での 達成度を 10 点満点で採点し、「あと 1 点上げるための取組」について提案を受ける。その後、全教職員で経営方針達成へ取組、7 月と11 月に同様のアンケートを行い、成果の確認と取組の改善を行う。
経営方針達成度は10 点満点で採点

3 C S 学校運営協議会による学校関係者評価

- (1) 第1回学校運営協議会 経営方針の承認
- (2) 学校運営協議会委員による教育活動参観や参画、意見反映を 随時実施。第2回学校運営協議会で、中間報告を行う。
- (3) 第3回学校運営協議会 学校関係者評価の実施
学校評価結果を報告するとともに、評価方法の適切さや評価内容について意見交流を行い、次年度の学校経営に反映する。

4 業務見直し推進の取組

- (1) 業務見直し推進委員による取組とする（低・中・高・特別支援各1名＋教頭）
- (2) 令和4年3月委員策定の取組を推進中（経営計画策定時点）
- (3) 7月と12月に全職員による業務見直しミーティングを実施する
- (4) 令和4年3月策定の改善策について、7月と12月に評価と改善を行う。

Ⅲ 各種具体的な計画

「どんな状況でも、自分自身でやるべきことを見つけ、解決する力を育む」

将来子供たちが直面することが確実な問題に、①国内では、急激な人口減少社会となること ②AIの進歩などでこれまでの生き方モデルが通用しない予測困難な時代となること ③地球環境問題を克服し、持続発展が可能な社会を実現しなければならないこと をあげることができる。いうまでもなく、これまでの人類の英知を学校教育で伝達し、理想を教えるだけでは、子供たちは未来を生きぬくことは困難である。しがって、学校教育では、一人ひとりが課題を解決する力。それも、限られた人的・物的条件の中で協働して最適な答えを生み出し、前進する力を獲得させることが必要となる。

本校では、これまで「教えて考えさせる授業」を全学年で展開する中で、知識・理解を共有し、その時間に獲得した知識・技能をつかって協働しながら社会生活へと通じる問題（理解深化問題）に挑戦することをくり返している。同時に、ピア・サポートを活用して居心地の良い協働できる学習集団づくりも実践している。そして、総合的な学習の時間を「みんな大好きプロジェクト」として、地域の教育力を生かし、社会のために役立つ実感をもち探究する力を伸ばす学習にも取り組んできた。

令和3年度は、この3つの取組の関連を更に意識した指導を展開し、子供たちも、私たち大人も、自ら、そして協働して探究し、最適な答えを導き出す経験を積み上げていく。そのため以下の3つの重点を掲げて推進を図っていきたい。

重点1

学び（と働き方）に最適な教育課程のリズムを共有し、物語あふれる学びの空間をつくり ます

これまで学校社会、特に小学校では、各学級経営を核としたボトムアップで教育活動が推進されてきた。しかし、近年、子ども達を巡る価値観の多様化や課題の複雑化により、担任一人で多くの児童の全てを賄う手法

では十分な教育効果を得ることが難しくなっている。そこで、本校では、主幹教諭制度を生かしながら、学校力向上コーディネーターや研修コーディネーター等学年・学級や分掌の枠を越えて必要に応じた活動ができるしくみを活用し、「めざす南っ子」の姿の共有、6年間一貫した「教えて考えさせる授業」の展開、GIGAスクール構想の定着などを通じて組織的に取り組む文化を醸成することができている。しかしながら、教育課程や行事への取組に関しては、依然として担当者まかせの傾向が残り、本校がどのような哲学とリズムで教育課程を進行管理しているのか共有されているとはいいがたい。そのことによって、依然として個業にとどまる一面が克服できず、互いに成長しあえる学校文化にもう一步届かない側面がある。

そこで、今年度は、ポストコロナを迎えたときにも継続できるような持続可能な教育活動を追求、共有していくことや短期間にとどまらず、中長期的にも見通しをもち、協働して一人ひとりが教育活動を展開できる学校づくりを目指していきたい。その過程では、これまですることが当たり前と思いこんでいた教育活動が、真に必要なものかを一つひとつ丁寧に見極め、新たな価値を創造する教育活動を展開できる余白を十分に生み出していかなければならない。

また、校務支援システムや Gsuite を活用してペーパーレスをはじめとする省力化と情報共有の仕組みを構築し、より効果的な働き方を整える1年も目指すこととする。

（具体的取組）

- ① コロナ禍等限られた教育条件の中でも効果的で持続可能な教育活動を追求する
- ② 日常の教育活動と諸会議や分掌業務等が見通しをもち、錯綜せずに行えるよう教育課程編成の意図や取り組み方の共通理解を図り推進する
- ③ PDCAをはじめとする検証サイクルで取り組む中で、特にペーパーレスと効率化を共有フオルダ、校務支援システム、Gsuite、ロイロ・ノートを効果的に活用することで確立する

重点2「教えて考えさせる授業」の良さを引き継ぎながら児童一人ひとりが自ら「問い」をたてて「解決」へ突き進む力を伸ばす授業をつくります

本校では、「教えて考えさせる授業」を一貫して取り入れる中で、「わかる・できる」を教科書と生活経験から導く従来の学習指導観から脱却し、獲得した知識・技能を実生活と結びつける学びや一人ひとりの理解を共有し、協働で課題を解決する45分間を定着させた。その結果、子ども達は、考える力や書く力、話す力をしっかりと定着させ、主体的な学習者として成長できるようになってきた。

しかし、一方で、教科の学習で得た力を社会との繋がりの中で生かし、自己有用観をもちながら取組を進める力を伸ばすことが十分にできているとはいいがたい。そこで、一昨年度から、総合的な学習の時間を「みんな大好きプロジェクト」名付け、系統的なプロジェクト学習として再整理し、情報活用能力の伸長を図りながら、地域の生産者や青年会議所などの方々と協働するなかで新たな学びを追求している。

令和3年度は、これまでの「教えて考えさせる授業」を日常授業で徹底することを第一に、探究的な学びを教科指導や総合的な学習の時間で積極的に取り入れ、さらには学校生活を向上させるために児童自らが参画する機会を増やしていく。そして、「問い」をたてて「解決」する経験を積み重ねながら未来を生きぬくために必要な力を育てていきたい。また、GIGAスクール構想を定着させ、新たな学習環境を生かしながら一人ひとりにあった学び、協働で取り組む学びを充実させていきたい。

（具体的取組）

- ① 授業スタイルの基軸を「教えて考えさせる授業」とすることで、6年間の学びのスタイルを一貫させる
- ② ICTを効果的に活用し、時空を越えた学習環境を整え、一人ひとりにあった主体的な学びを獲得させる
- ③ 探究的な学びを生活科や他の教科指導はもとより、総合的な学習時間の中で情報活用能力を生かし、社会との接続から学ばせる

重点3

ピア・サポートのゴールを居心地の良い学習集団づくりから多様性を認め、受け入れ、協働できる学習集団づくりへと進化させます

児童一人ひとりが居心地のよい生活を送り、積極的に協働して学べる学習集団を組織することは、教育活動を円滑に推進するための必須の条件である。本校では、ピア・サポートの実践を充実させながら、学級力パワーアップシートなどの自己評価活動を通じて学級づくりを進めている。更に、QU分析を活用し客観的に成果と課題を確認しながら推進を図っている。令和5年度は、各種の評価や調査の意義を再整理し、相互の関係を改めて共有しながらこれらの取組を推進していく。

また、令和2年度からコミュニティ・スクールとして学校運営をはじめた本校では、令和4年度には光陵中学校区でのコミュニティ・エリアへ移行する前提で活動を推進しており、令和3年度はその移行のための1年となる。現在、本校の学校運営協議会には、本校学校経営への助言と評価をいただく他に、主に総合的な学習の時間「みんな大好きプロジェクト」を協働運営していただいている。現在の学校運営協議会については、令和4年度以降は、光陵中コミュニティ・スクール南小部会となる予定であることから、その役割も整理していきたい。同時に、校区内の人材や協働できる団体との連携を令和5年度はあらためて行っていく予定である。

PTA活動については、これまで学校とは完全に別な組織として運営されており、学校教育の支援団体として頼りになる存在である。しかしながら、共働き家庭の増加や意識の変化から、従前の活動を維持することが難しくなっているとの声を聞くことがある。他組織ではあるが、今後そのあり方について、コミュニティ・エリアや4Pサミット（光陵中校区4校小中学校PTA役員による組織）の活動もふくめ見直しが進められていくことになる。本校としても、地域や保護者の教育活動参画を促す視点からも継続して協力していきたい。

更に、子ども達自身が、自らの心と体の健康を伸ばす力を獲得できるよう各種の取組を融合させながら、指導と支援を強化する必要もある。次年度は、健康の視点から行われている様々なとりくみを整理、関連づけながらより良い方向へ進化させていくことへ取り組んでいきたい。

（具体的取組）

- ①ピア・サポート及び学級力パワーアップの取組を通じて一人ひとりが多様性を共有し安心して積極的に学べる学習集団を育む
- ②PTAや学校運営協議会委員、地域の皆さんも参画できる教育活動、学習集団を育む
- ③各種健康診断、新体力テストなどの取組を通じて、自分自身の身体を知り、伸ばす力を育む

Ⅰ 全体計画から推進する教育活動

構造的組織的に推進を図るべき教育活動については、全体計画として整理し推進を図っていく。

- (1) 道徳教育 (2) 特別活動 (3) 総合的な学習の時間 (4) 体力向上 (5) 食に関する指導 (6) 環境教育
- (7) キャリア教育 (8) 人権教育 (9) 学校保健年間計画 (10) 性に関する指導 (11) 学校安全指導
- (12) 情報教育

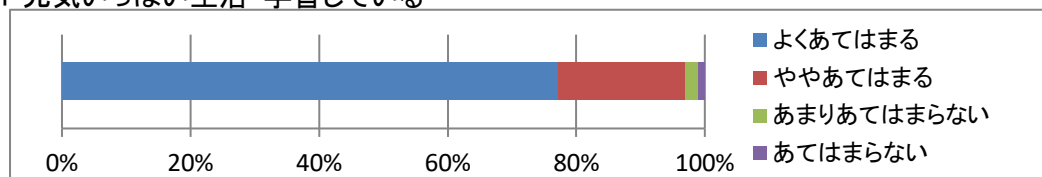
2 教育活動推進体制は以下のように整理する

- (1) 担任外等を副担任として位置づけ、学年業務や学年行事、総合的な学習の時間をより組織的、効果的に推進できる体制とする。
- (2) 専科配置の他に、担任間の乗り入れ授業を可能な限り取り入れ、組織的な生徒指導が機能する素地を広げ、かつ教材研究数の削減を図る。
- (3) 分掌組織については、学校事務職員が単数配置となったことから、学習部・生活部の2部体制から、学習部・生活部・事務部の3部体制へ移行する。
- (4) 学校事務職員及び養護教諭について、それぞれの本来職務を明確にし、学校として分掌する業務との整理をする。
- (5) 企画調整会議メンバーに事務部リーダーを加えて7名体制とする。
- (6) 学校運営会議を定例化する。
- (7) 学校運営推進教師として以下のリーダーを配置する
 - ① CS推進委員
 - ② 研修コーディネーター
 - ③ 探究的な学び・GIGAスクール構想実践コーディネーター
 - ④ 体力向上コーディネーター
 - ⑤ 児童支援コーディネーター
 - ⑥ 特別支援コーディネーター（特別支援学級担任1名＋養護教諭）
 - ⑦ 初任層支援コーディネーター
 - ⑧ 道徳推進教師
 - ⑨ GIGA関連管理運営・プログラミング推進担当教諭
- (8) 教科部会「生活科」と「総合的な学習の時間」部会を統合し、「生活科・総合的な学習の時間部会」とし、6年間の「探究的な学び」を整理し、推進する。
- (9) CS推進委員会を新たに立ち上げる
 - *主幹教諭の業務内容には表記を残し、学習部の業務内容からは削除する
 - *委員は、教科部会「生活科・総合的な学習の時間部会」に所属する
 - *主に、学校運営協議会事務局業務、ブログ更新業務を行う
- (10) GIGA関連管理運営・プログラミング推進担当を新たに配置する
 - *学習部業務内容からプログラミング教育を削除する
 - *指導部放送業務からICT関連機器の管理運用を除く
 - *担当は、「生活科・総合的な学習の時間」部会及び情報教育部会を牽引する。
- (11) (1)～(10)を踏まえて、特別委員会のあり方や運用について今年度は検討、改善を図りながら運用をしていく。

2023(R5)年度 岩見沢市立南小学校 児童アンケート結果

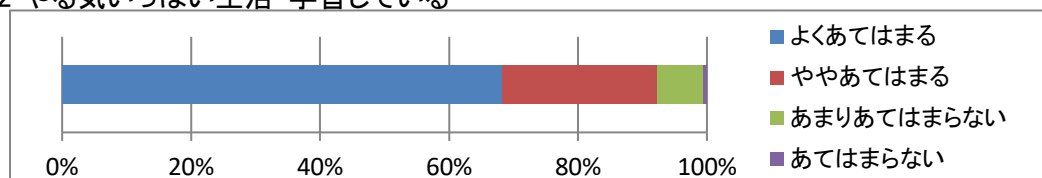
[めざす子どもの姿]

1 元気いっぱい生活・学習している



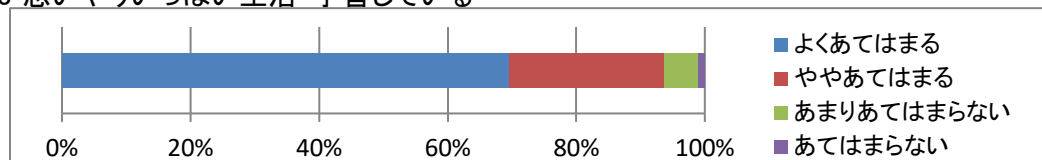
	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
2023	78%	20%	2%	1%
2022	70%	25%	5%	1%

2 やる気いっぱい生活・学習している



	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
2023	68%	24%	7%	1%
2022	58%	35%	6%	1%

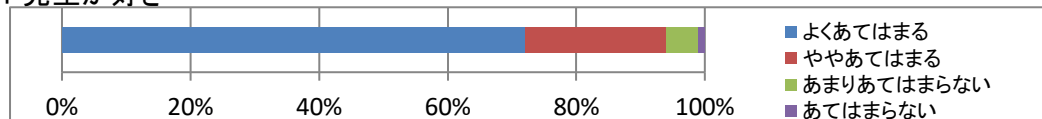
3 思いやりいっぱい生活・学習している



	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
2023	69%	24%	5%	1%
2022	63%	31%	5%	1%

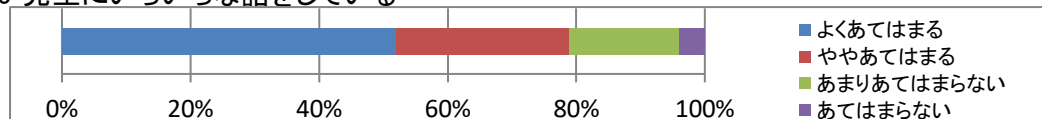
[先生がすき]

4 先生が好き



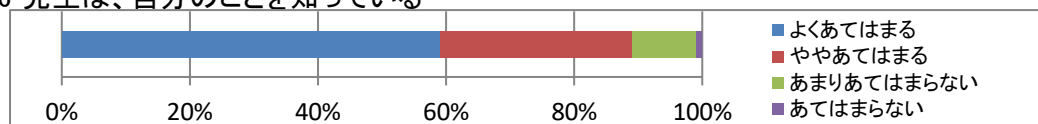
	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
2023	72%	22%	5%	1%
2022	70%	23%	5%	2%

5 先生にいろいろな話をしている



	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
2023	52%	27%	17%	4%
2022	36%	43%	16%	5%

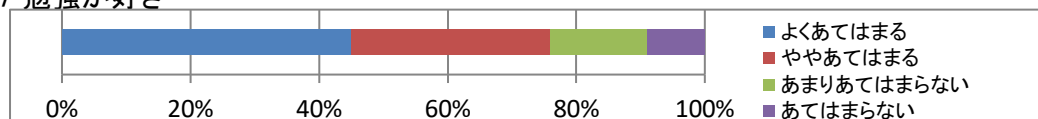
6 先生は、自分のことを知っている



	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
2023	59%	30%	10%	1%
2022	55%	26%	13%	6%

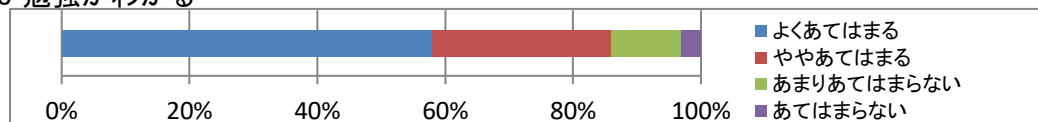
[勉強がすき]

7 勉強が好き



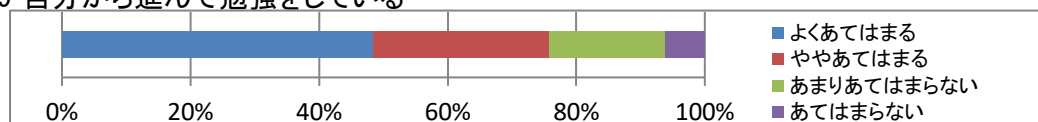
	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
2023	45%	31%	15%	9%
2022	44%	30%	19%	7%

8 勉強がわかる



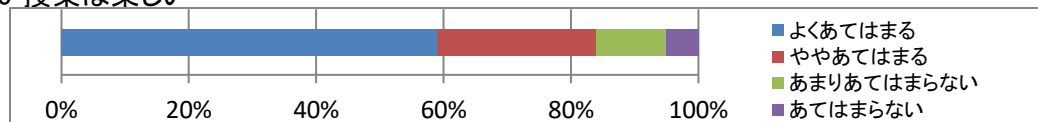
	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
2023	58%	28%	11%	3%
2022	51%	38%	8%	3%

9 自分から進んで勉強をしている



	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
2023	48%	27%	18%	6%
2022	44%	34%	17%	5%

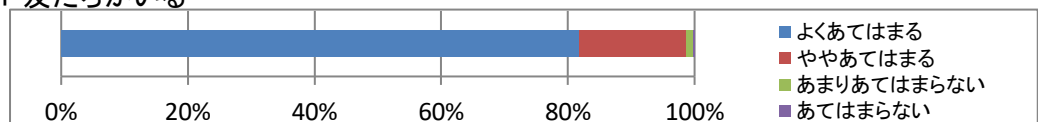
10 授業は楽しい



	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
2023	59%	25%	11%	5%
2022	59%	28%	9%	4%

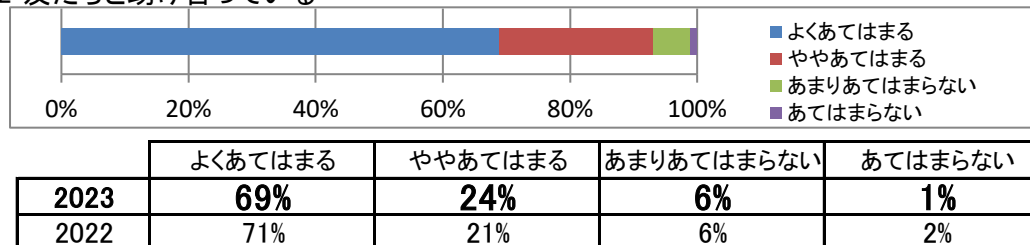
[友達がいる]

11 友だちがいる

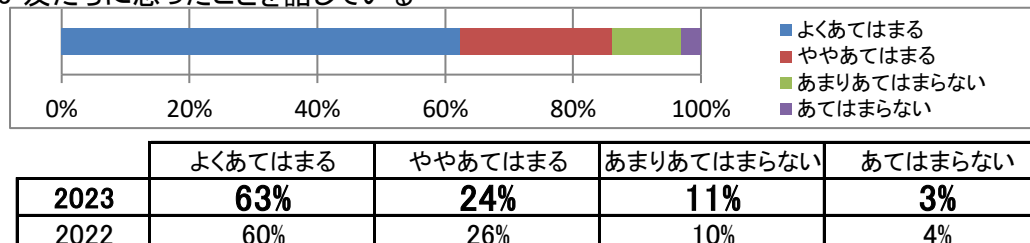


	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
2023	82%	17%	1%	0%
2022	86%	11%	2%	1%

12 友だちと助け合っている

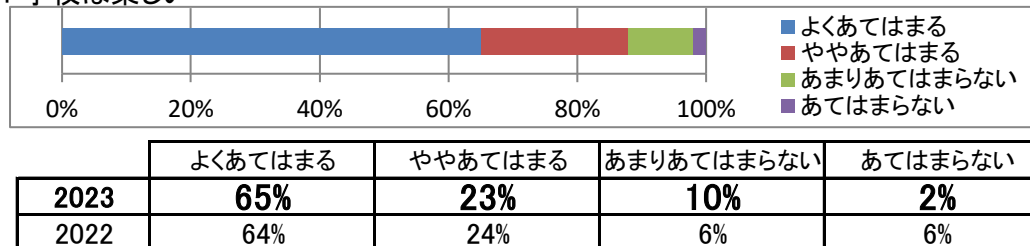


13 友だちに思ったことを話している

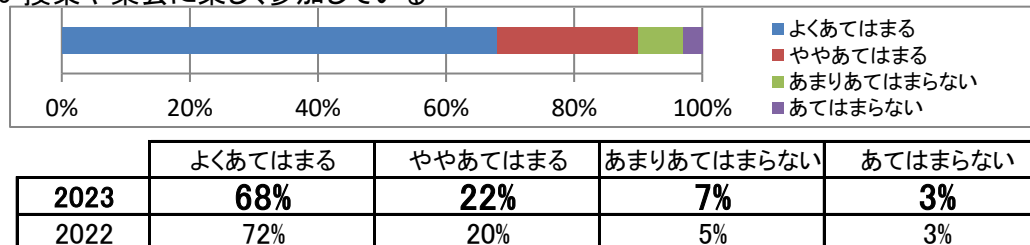


[学校が楽しい]

14 学校は楽しい



15 授業や集会に楽しく参加している



【 児童アンケート考察 】

1. [めざす子どもの姿]

全ての項目で肯定的回答が90%を超えている。「めざす子どもの姿」に照らし、子どもが充実感を持って学校生活を送っていることがうかがえる。一方、否定的回答の児童も少数ながらいることから個を大切に、子ども一人一人がより良く成長していけるよう努力していきたい。

2. 「先生が好き」

「先生が好き」を含めた全項目で肯定的回答がほぼ90%以上となっている。半面「あまりあてはまらない」などの否定的回答をしている児童の割合が一定数いる。児童一人一人との対話やコミュニケーションを心掛け児童理解に努めていきたい。

3. 「勉強が好き」

どの項目も肯定的回答が昨年度と同様であった。ただ「勉強がわかる」「授業は楽しい」の項目での否定的回答が昨年度に比べやや増え、保護者アンケートでも同様な傾向が見られている。子ども達への学習保障という点からも個別最適な学びが求められており、キュビナ（AIドリル）等を積極的に活用するなどして個別支援の充実や主体的に学ぶ姿勢を育てていきたい。

4. 「友達がいる」

どの項目も昨年度と同様の割合であった。「友だちに思ったことを話す」が高学年ではやや低い傾向にある。児童の発達段階を踏まえ、日常の児童観察等も含めて子ども達がより良い人間関係を築いていけるような社会性を育てていきたい。

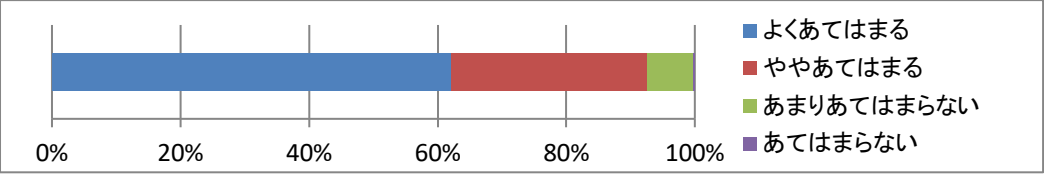
5. 「学校が楽しい」

すべての項目で肯定的回答が90%になっている。一方で否定的回答が0ではない。【めざす子どもの姿】と同様に全員の子供達にとって安全で安心な場である学校をさらに目指したい。

2023(R5)年度 岩見沢市立南小学校 保護者アンケート結果

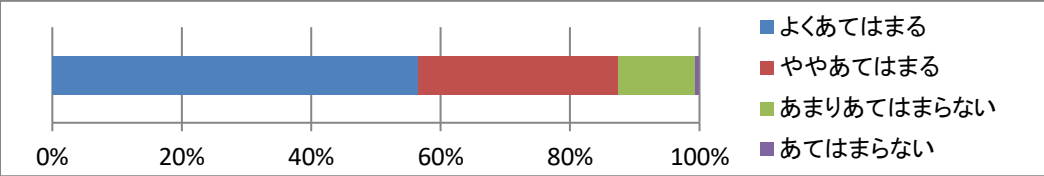
<めざす子どものすがた>

1 元気いっぱい



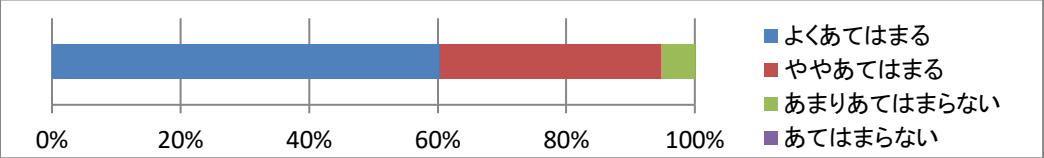
	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
2023	60%	30%	7%	0%
2022	60%	34%	4%	2%

2 やる気いっぱい



	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
2023	57%	31%	12%	1%
2022	50%	40%	8%	2%

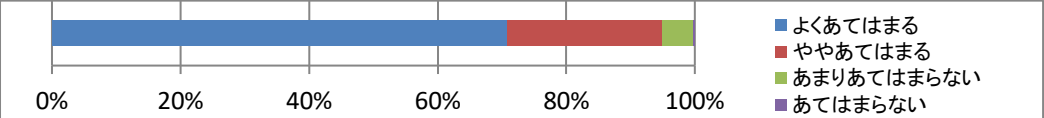
3 思いやりいっぱい



	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
2023	60%	34%	5%	0%
2022	52%	44%	4%	1%

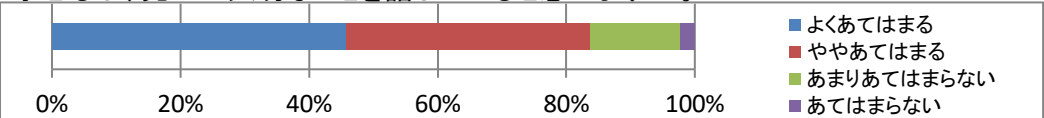
[先生がすき]

4 子どもは、先生が好きだと思いますか。



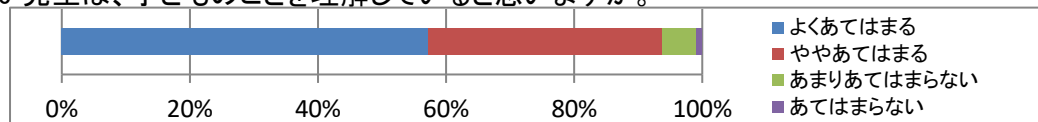
	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
2023	71%	24%	5%	0%
2022	70%	25%	4%	1%

5 子どもは、先生に大切なことを話していると思いますか。



	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
2023	46%	38%	14%	2%
2022	36%	43%	16%	5%

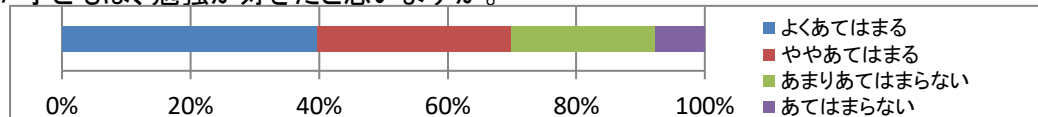
6 先生は、子どものことを理解していると思いますか。



	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
2023	57%	37%	5%	1%
2022	54%	38%	6%	1%

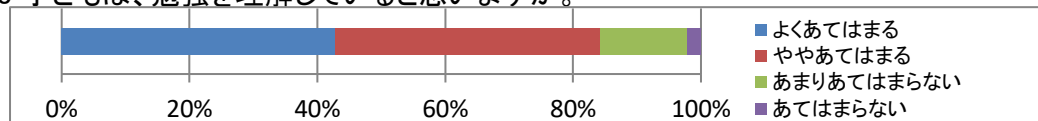
[勉強がすき]

7 子どもは、勉強が好きだと思いますか。



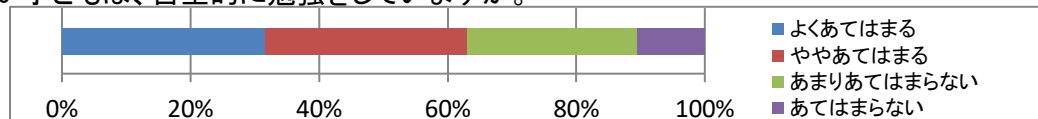
	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
2023	40%	30%	22%	8%
2022	25%	47%	19%	9%

8 子どもは、勉強を理解していると思いますか。



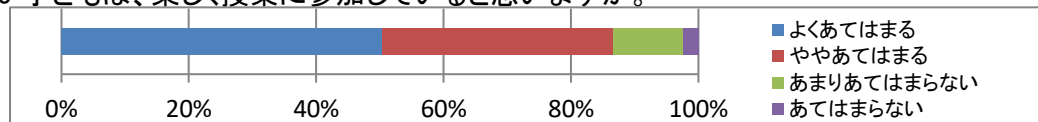
	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
2023	43%	42%	14%	2%
2022	30%	54%	13%	2%

9 子どもは、自主的に勉強をしていますか。



	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
2023	32%	31%	26%	10%
2022	30%	38%	22%	9%

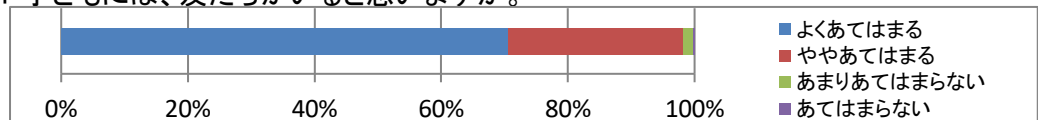
10 子どもは、楽しく授業に参加していると思いますか。



	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
2023	50%	36%	11%	2%
2022	47%	42%	9%	2%

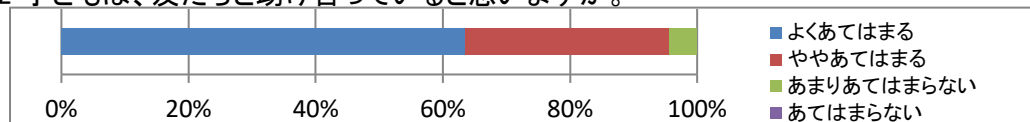
[友達がいる]

11 子どもには、友だちがいると思いますか。



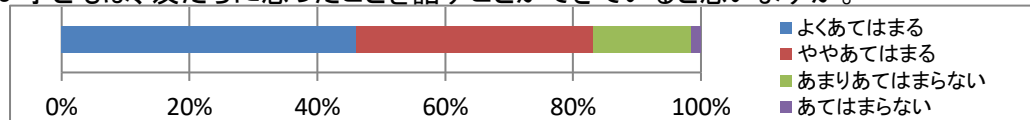
	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
2023	71%	27%	2%	0%
2022	69%	29%	3%	0%

12 子どもは、友だちと助け合っていると思いますか。



	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
2023	63%	32%	4%	0%
2022	59%	36%	5%	0%

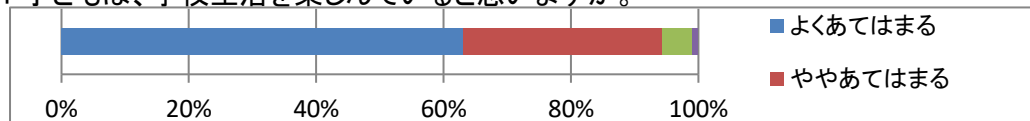
13 子どもは、友だちに思ったことを話すことができていると思いますか。



	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
2023	46%	37%	15%	2%
2022	37%	48%	13%	2%

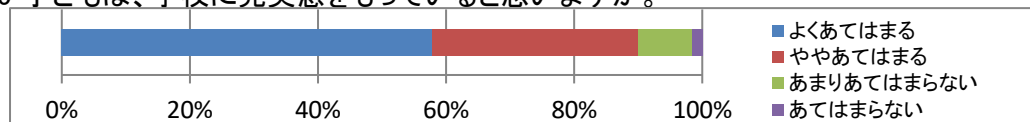
[学校が楽しい]

14 子どもは、学校生活を楽しんでいると思いますか。



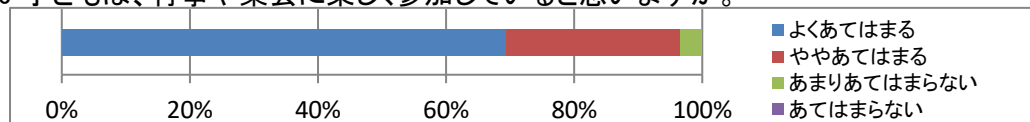
	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
2023	63%	31%	5%	1%
2022	63%	33%	4%	1%

15 子どもは、学校に充実感をもっていると思いますか。



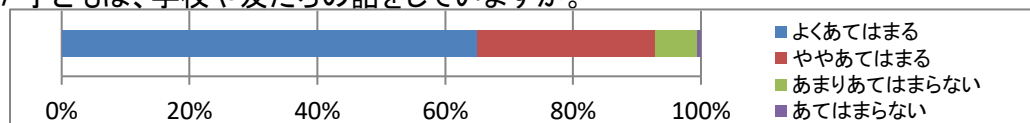
	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
2023	58%	32%	8%	2%
2022	55%	39%	5%	1%

16 子どもは、行事や集会に楽しく参加していると思いますか。



	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
2023	69%	27%	3%	0%
2022	72%	26%	2%	1%

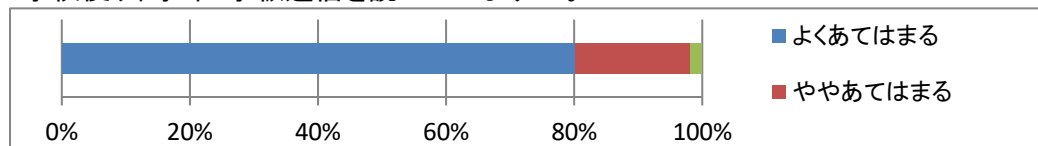
17 子どもは、学校や友だちの話をしていますか。



	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
2023	65%	28%	7%	1%
2022	62%	32%	5%	1%

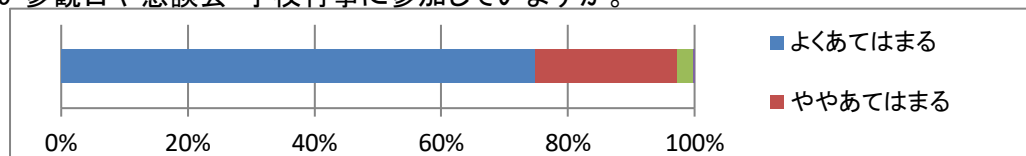
[連携]

18 学校便り、学年・学級通信を読んでいますか。



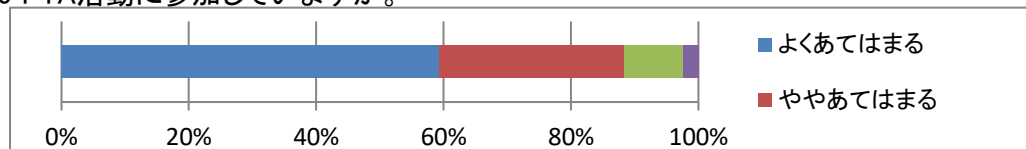
	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
2023	80%	18%	2%	0%
2022	78%	19%	2%	1%

19 参観日や懇談会・学校行事に参加していますか。



	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
2023	75%	22%	2%	0%
2022	72%	25%	2%	0%

20 PTA活動に参加していますか。



	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
2023	59%	29%	9%	2%
2022	53%	30%	12%	4%

【 保護者アンケート考察 】

1. [めざす子どもの姿]

どの項目も肯定的回答が高く、「めざす子どもの姿」に照らして、子どもの成長を実感していることがうかがえる。一方、「元気いっぱい」が昨年度（94%）を4%下回った。各教育活動の質を維持・発展させ、子ども一人一人のより良い成長をめざしたい。

2. 「先生が好き」

「先生が好き」「先生は、子どものことを理解している」の肯定的回答が90%以上となっている。半面「先生に大切なことをはなしている」は上記より低い傾向（84%）にある。これは、児童も同様の傾向にある。特にコロナ禍の収束に向かっていくが、児童一人一人へのきめ細かな対応をこれまで以上に心掛けたい。

3. 「勉強が好き」

「子どもは、自主的に勉強している」の項目の肯定的回答は85%で昨年度（84%）と同様で、学習内容を理解していると評価する保護者が多い。一方で、「勉強が好き」「楽しく参加できている」「自主的に勉強している」の項目の肯定的回答は昨年度よりも低い。特に学びに向かう姿勢をより育て、主体的に学習が進めることができる子どもの育成を目指していきたい。

4. 「友達がいる」

友達がいて、助け合っていると押さえている保護者がほぼ95%以上である。また、友達に思ったことを話すことができているの項目について肯定的回答が83%である。これは児童アンケートと同様「思ったことを話す」が低い傾向にある。児童アンケートでの今後の対応の視点で取組を進めたい。

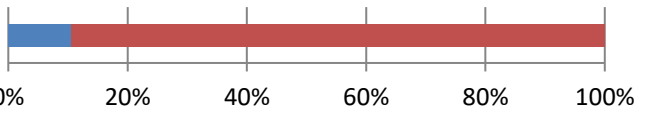
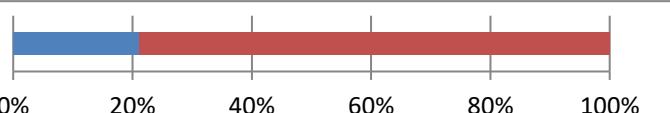
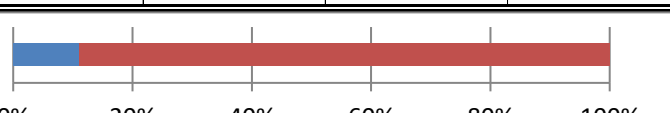
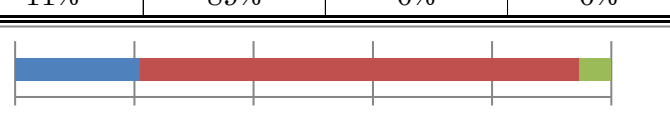
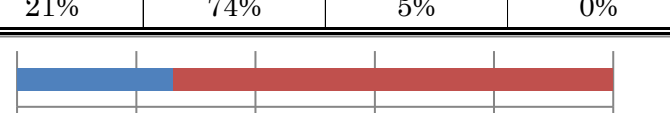
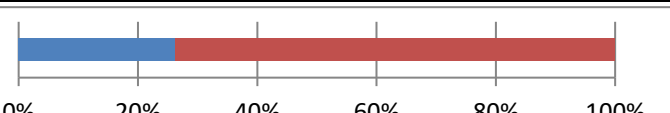
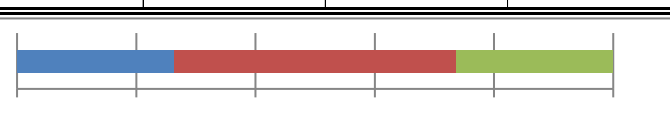
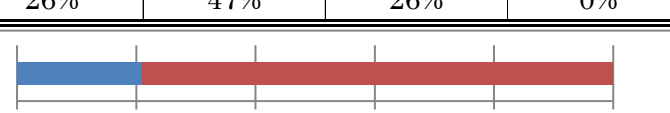
5. 「学校が楽しい」

すべての項目で肯定的回答が90%を超えている。一方で否定的回答が0ではない。学校が楽しい場であることは、保護者の学校への信頼の前提になるものなので、その基盤となる前項の項目の充実を柱に、子どもにとって楽しい学校、保護者から信頼される学校をさらに目指したい。

6. 「連携」

どの項目も昨年度を超えていることから保護者の学校に対する関心の高さがうかがえる。コロナ禍が収束し、子どものより良い成長のために、これまで同様、様々な場を通して連携を深めていきたい。また、この「連携」の項目に関する記述内容が一番多かったことから、家庭との連携が強く求められ、必要とされている。

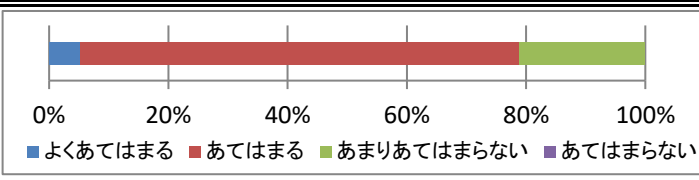
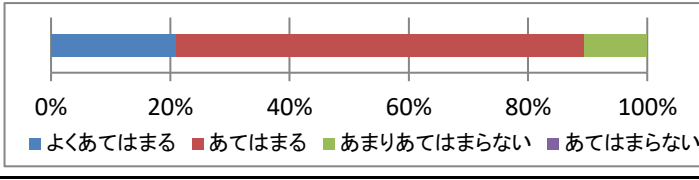
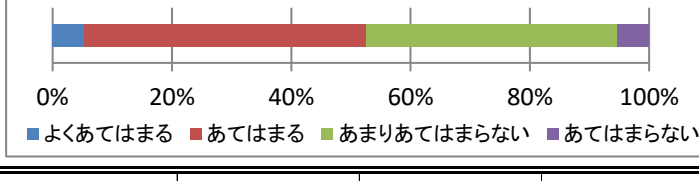
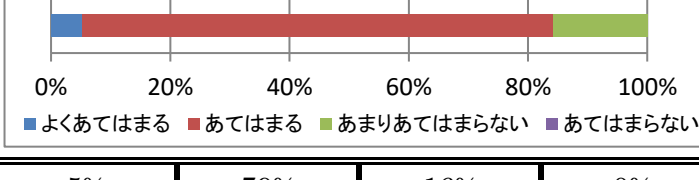
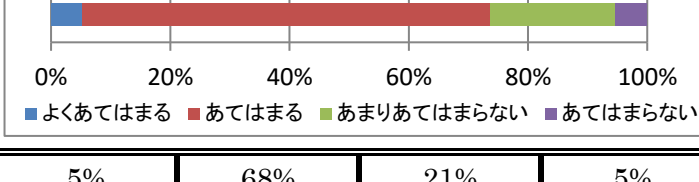
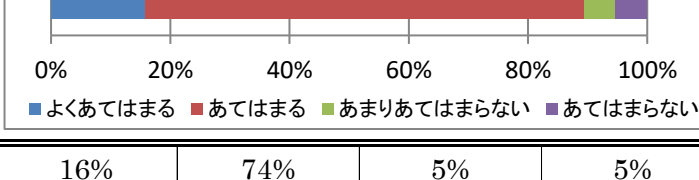
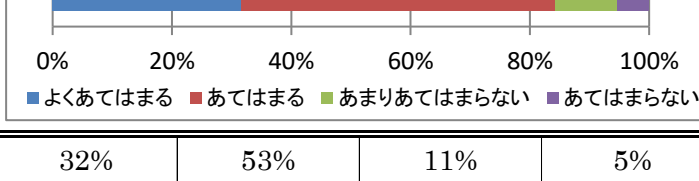
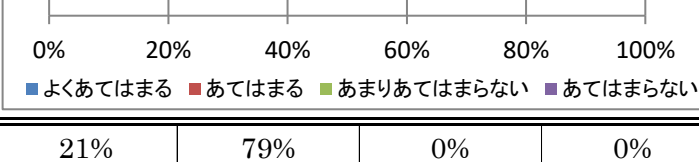
③教職員アンケート結果

			No.	評価項目	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
今年度のめざす学校の姿	1	子ども一人ひとりの能力の伸長に努める。					11%	89%	0%	0%	
	2	主体的な学びの姿勢をはぐむ授業作りに努め、学習の楽しさを味わわせる。					21%	79%	0%	0%	
	3	自己有用感のある学級集団作りに努める。					11%	89%	0%	0%	
	4	行事等の教育活動のねらいが達成され、児童の活動満足度が高い。					21%	74%	5%	0%	
	5	子どもにとって「先生が好き。勉強が好き。友達がいる。学校が楽しい。」という学校の具現化に努める。					26%	74%	0%	0%	
確かな学	基礎学力	6	全国学力・学習状況調査や標準学力テストなどを用いた学力分析とPDCAサイクルを生かし徹底した指導に努め、基礎学力の向上を図る。					26%	74%	0%	0%
	個に応じた指導	7	少人数指導などを積極的に活用・推進し、補習学習等の保障に努める。					26%	47%	26%	0%
	ユニバーサルデザインの授業	8	ユニバーサルデザイン授業を基底とした日常授業の充実とどの子にも「勉強が好き。わかる・できる」という自己肯定感のある授業の展開と指導に努める					21%	79%	0%	0%

③教職員アンケート結果

		No.	評価項目	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
力の育成	総合	9	ねらい・内容の明確化と系統性の構築を図り、探求的な学習過程の確立、各教科と関連づけた指導に努める。				
				21%	79%	0%	0%
		10	ALTを積極的に活用し、コミュニケーション能力の育成と国際理解教育の育成に努める。				
				53%	47%	0%	0%
	読書活動	11	朝読書の時間の確保と家読の推奨による読書習慣の確立に努める。				
				26%	58%	16%	0%
	生徒指導	12	ピアサポートなどのカウンセリング機能を生かした支持的風土の学級づくりを推進し、QUテストや各種アンケートを生かした児童理解に努める。				
				37%	63%	0%	0%
		13	積極的な授業公開に努め、道徳授業の工夫・改善等を行い、道徳科を要とし、全教育活動を通じた人間尊重の精神の育成に努める。				
				26%	74%	0%	0%
豊かな心の育成	特別活動	14	集団の一員としての自覚を深め、自主的・実践的な態度を育てる学級活動や児童会活動、学校行事の充実に努める。				
				16%	74%	11%	0%
	体験活動	15	地域学習・社会参画や宿泊学習等による社会体験、自然・文化的体験等により、思いやりや美しいものに感動する感性、自己肯定感などを育む指導を充実させる。				
				11%	79%	11%	0%
	特別支援教育	16	コーディネーターを中心として全教職員で共通理解を図り、校内体制を確立するとともに、ユニバーサルデザイン授業を目指した教師間連携による効果的な環境整備や指導の充実に努める。				
				35%	50%	15%	0%

③教職員アンケート結果

			No.	評価項目	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
健康 やかな 体の 育成	キャリア教育	17	地域・社会とのつながり、自らの能力・適性、興味・関心と将来の自分の人生とを関連づけた望ましい勤労観、職業観を育むためにキャリア教育の自校化を推進する。					5%	74%	21%	0%
	新体力テスト	18	体力・運動能力テストの実施とそれを生かした体力強化に努める。					21%	68%	11%	0%
	子どもの運動	19	楽しさを実感させる教科体育の工夫改善と生涯スポーツへの基礎作りに努め、「1校1実践」の取り組みを推進する。					5%	47%	42%	5%
	食育と健康づくり	20	食に関する正しい知識と望ましい食習慣作りに努める。					5%	79%	16%	0%
		21	家庭や地域との関係機関と連携し、子どもの発達段階に応じた性教育や薬物乱用防止教育などを推進する。					5%	68%	21%	5%
基本的な生活習慣の確立	早寝早起き朝ごはん	22	家庭との連携を図り、実態把握と改善に努め、生活習慣の定着に取り組む。					16%	74%	5%	5%
	学習習慣	23	家庭や中学校との連携を図り、学習習慣や読書習慣の定着を推進する。					32%	53%	11%	5%
	学校力の向上	24	学校力向上を図るため、経営ビジョン評価の数値目標達成と評価分析に基づく改善策の推進に努める。					21%	79%	0%	0%

③教職員アンケート結果

		No.	評価項目	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
学校 力 向 上 に 向 け た 取 り 組 み	組織力強化	25	組織的な学校運営を図るため、企画調整会議や分掌部会・校内委員会などを帰納的に推進する。	0% 20% 40% 60% 80% 100% ■よくあてはまる ■あてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない				
					37%	63%	0%	0%
	校内研修の充実	26	「学び続ける教師」としての自覚を持ち、授業力向上に努め、組織を機能させた校内研修の活性化を図る。	0% 20% 40% 60% 80% 100% ■よくあてはまる ■あてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない				
				47%	53%	0%	0%	
	公開研究会の実施	27	研究課題解明のため、公開研究会を開催し、実践・検証・改善にあたる。	0% 20% 40% 60% 80% 100% ■よくあてはまる ■あてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない				
				63%	37%	0%	0%	
学校 評 価 と 説 明 責 任	学校評価	28	積極的な評価分析と公表につとめ、学校改善に生かせるように推進する。	0% 20% 40% 60% 80% 100% ■よくあてはまる ■あてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない				
					42%	58%	0%	0%
	説明責任	29	自己評価、学校関係者による評価結果の公表や情報提供に努める。	0% 20% 40% 60% 80% 100% ■よくあてはまる ■あてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない				
				42%	58%	0%	0%	
	服務規律	30	教育公務員としての誇りと自覚を醸成し、法令遵守の意識を持つ。	75% 80% 85% 90% 95% 100% ■よくあてはまる ■あてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない				
				84%	16%	0%	0%	
	危機管理意識	31	自ら主体的に危険を察知して危険から遠ざかる行動ができる子どもの育成に努める。	0% 20% 40% 60% 80% 100% ■よくあてはまる ■あてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない				
				37%	58%	5%	0%	

③教職員アンケート結果

		No.	評価項目	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
頼られる学校の創造	安心・安全の確立	32	子ども自ら身を守ろうとする態度や能力を育成するための危機管理体制の確立と防災教育実践に努める。		37%	63%	0%	0%
		33	校内や登下校時における安全確保のため、家庭や地域関係機関との連携強化に努める		37%	58%	0%	5%
		34	「災害」が発生した場合を想定した多様性に応じた実践的な避難訓練を推進する。		37%	58%	5%	0%
	校種間の連携	35	授業交流や生徒指導上の情報交換などを通し学校間連携の強化に努め、指導内容の連続性や系統性を重視した連携の推進に努める。		26%	63%	5%	5%
		36	幼児教育を担う関係機関や光が丘学園との交流を行い連携強化に努める。		26%	68%	5%	0%
	家庭・地域との連携協力	37	各教科などで地域人材や地域資源を活用する。		58%	42%	0%	0%
38		PTAと連携し活動の活性化を図る。家庭や地域との連携を強化し、子どもたちの安全・安心を守り育てる環境の整備に努める。		33%	67%	0%	0%	
39		岩見沢市教育行政執行方針の具現化に努める。		28%	67%	6%	0%	

③教職員アンケート結果

			No.	評価項目	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
今日の課題			40	公教育に求められる今日の課題の改善に努める。	0%20%40%60%80%100% よくあてはまるあてはまるあまりあてはまらないあてはまらない			
					39%	61%	0%	0%

教職員アンケートより

<めざす学校のすがた>

どの項目も肯定的回答(よくあてはまる・あてはまる)が90%を超え、概ね達成されていると捉えられる。4(行事のねらいと児童の満足度)については、3年間のコロナ禍を受け、来年度を見据えた行事を含めた特別活動の活動の内容等の再検討の必要がある。

<生きる力の育成>

肯定的回答が80%を超える項目が18項目中13項目であった。「生きる力の育成」について、これまで実践してきた教育活動の方向性と方法は概ね確かだと言える。その中で、休み時間等の運動機会・朝読書の時間の保障、行事の変更・内容の縮小など、教育活動を制限・中止せざるを得ない現状が続いている。2年間のコロナ禍での教育活動の推進を糧に、今一度内容・方法を整理する必要があると考える。

<信頼される学校の創造>

どの項目も、100%またはそれに近い高い数値であるが、35「中学校、近隣実践校との連携」他と比較して肯定的回答が低い。これは、中央ブロック4校連携協議会の各種事業の中止に伴うものに起因すると思われる。

令和5年度 学校関係者評価 結果報告

CA光陵校区 学校運営協議会

岩見沢市立南小学校 実施日：12月7日（木）

1 学校の自己評価に対する評価

評価項目	A	B	C
自己評価の妥当性	6	2	0
取組の適切さ	7	1	0

2 評価理由と改善意見等

- アンケートの多くの項目で「よくあてはまる」の割合が増えているのは、先生方の取組の成果だと思われます。そこから見ての自己評価についても適切だと考えます。
- 元気いっぱい、どの学年を見ても積極的に発言したり、表情も豊かで先生との信頼関係も伺えました。アンケートでは勉強系が低下しているとあるが、何でも「楽しい、できた、ほめられた」などの成功体験がまたがんばろう、次のレベルに挑戦しようとなるのかなぁと思います。
- 校長先生の説明から、課題を明確にとらえていると感じました。これからの取組の継続性と改善方法等が、より具体的になっていれば尚良いと思います。
- 個別対応が必要な児童が多い中、工夫して個別指導に取り組んでいるのが児童のことをよく考えた対応と感じました。児童アンケート「めざす子どもの姿」1元気いっぱい2思いやりいっぱいという文言がやや分かりにくいと感じます。より具体的な方が児童も振り返りやすいかもしれません。
- 1年の中での変化がわかるよう複数回のアンケートを実施していただきたい。
- 学年ごとの考え方がわかるよう評価の分析を行っていただきたい。
- 「考察」については評価をふまえた、より具体的な取組を検討し、記載いただきたい。
- 「めざす姿」からの評価となっているが、より具体的な項目設定があっても良いと思う。
- 下記「自己評価点検票」の④⑤の内容をふまえた「考察」があると良いと思った。
- 昨年度よりもわずかに下回った部分やほんのわずかの否定的回答数値にも目を向け、より良い教育のための方策を考えて学校運営を行っている。
- 児童が生き生きと活動している。

3 自己評価点検表

No.	点検項目	A	B	C
①	評価項目の内容や項目数は、適切であるか。	7	1	0
②	評価の時期や方法は、適切であるか。	5	2	0
③	評価結果の集計や分析の仕方、情報公開等が適切に行われているか	4	4	0
④	学校教育活動を通じて、児童生徒や学校の変容が感じられるか。	5	3	0
⑤	学校評価が、組織的・継続的な改善を図るものになっているか。	6	2	0

4 その他特記事項

○昨年度の学校評価の結果とその分析→学校でたてた改善策→今年度の取組と学校評価→今年度との分析と改善策の妥当性という流れが見えると「学校評価に対する評価」が出来ると思います。

○参観日1日と「学校評価アンケートの結果」からは「今年度の取組の成果」は見られますが、「学校の自己評価に対する評価」は難しいのでは。

○教室が広く、生徒にとってもメンタル的にのびのびと落ち着いた環境でとても良いと思いました。グループワークも適していますね。自主的に1分テストを行っているとの事です。何かしらの方法で表彰したりすると少しは意欲的になるのかなと考えます。

○ひとり1人に寄り添っている環境は、素晴らしいと思います。

○学校として何を課題に取り組んでいるのかの説明が聞きたかったです。

○児童と保護者のアンケート比較がしやすい、学年ごとの比較もあるとより良いと思います。

○保護者アンケートに関しては、学校の様子を常に見ているわけではないため、一概に判断できないが保護者記述を見ると学校（先生）と保護者がしっかりと課題を共有し、対応している様子が伺えるので概ね信憑性があると感じました。

○学校の取組を深く理解してもらえれば、アンケート結果もより前向きな回答が増えると思います。

【観点別・主な保護者記述】（一部抜粋等含む）

先生が すき 関連	先生が授業で言う内容をよく話してくれます。とても面白いらしく目をキラキラさせて教えてくれます。これからもよろしくお願いします。
	先生のしてくれた雑談や、ニュースの話などよく覚えていて家で話してくれます。話しているときの表情が生き生きとしていて、先生のことがとても好きなのだなと感じております。
勉強が 好き 関連	学習面では、制作・調べ学習でとても楽しそいに取り組んでいる姿が印象的です。
	年度始めに家庭学習はスタンプのみで返しますと話していただいていますので、お忙しい時は遠慮なくそのまま戻していただいて構いません。無理のない範囲で大丈夫です。また、忘れ物の作品もわざわざ届けていただこうとしていた話を伺い、家庭に取りに来てもらうなど言ってくださって構いません。いつも、ありがとうございます。
	やる気を引き出すような声かけや関わりをしてくださっていて、いつも感謝しています。家庭学習のノートに書いて下さるコメントも娘だけでなく、親としても励まされ、頑張る活力になっています。
	時折学校に用事で行ったときに、見かけると教科によりますが、勉強も楽しく参加しているみたいです。
友だちが いる 関連	お友達には自分の思っていることをなかなか言えない状況ですが、今後の成長をゆっくり見守っていきたいと思いますので、よろしくお願い致します。
	仲良しのお友達もいて気も合うのか充実していてクラスが好きと言っています。残りわずかな小学校生活を思いっきり楽しんでもらいたいと母なりに応援しています。これからもよろしくお願い致します。
	毎日、休まず楽しく登校できるのは、先生方とクラスのお友達のおかげです。いつも、ありがとうございます。
学校が 楽しい 関連	学校は嫌いではないが、個々では良いが、集団になるとからかわれたり、仲間はずれにされたり、悩みに出すと嫌になることがあるので先生とよく連携をとって見守っていくようにしています。
	毎日、笑顔で登校していきます。いつもありがとうございます。
	子どもの安心感を育てることに集中していきたいです。
	学校で過ごす時間がとても楽しいようで、色々と話してくれます。充実した日々を送っているようで安心しています。
	始めは学校に行きたくないと言っていましたが、最近は学校が楽しいと思えるようになり良かったです。やる気が上がっていると思います。ありがとうございます。
	昨年までは喜びや楽しみを感じながら登校できていたと思います。大人の理不尽な言動に対して、不満や不安を感じている様子が見られました。
	「学校は行きたい」と言いますので、良い場所なのだと思います。
	はじめの3ヶ月はいろいろと悩む事もあったようですが、今は元気に通えています。
	先生方やお友達のおかげで、楽しく学校生活を送ることが出来ているようです。ありがとうございます。
	クラス替えて仲良しの子と離れて落ち込んでいましたが、今はクラスのことととても良くなり、毎日遊んでいます。学校も楽しく通っています。
連携 関連	本人なりに努力はしているようですが、子どもは学校が楽しくないようです。昨年までは楽しく過ごせていたので残念です。
	まわりの友だちや先生方に恵まれ、楽しく学校生活を送っています。
	いつも、丁寧なご指導あり。とうございます。
	学校での様子を担任の先生に伺えるのが、ありがたいです。もう少し、自分で考えた行動をしていけると良いのですが・・・
	いつもお世話になり、ありがとうございます。先生方に相談させていただき、懇談会でもたくさんお話をさせていただいております。安心して登校させていただき、本当に感謝しています。
	担任の先生がとても丁寧に対応してくださっているおかげで、学校が楽しいと感じたり、友だちが出来たりしたようで、感謝しています。
	先生に相談したことが多々ありました。学力もそうですが、生きる力をつけていくために親としてどうしたらよいかも先生との話の中で私なりに学ばせてもらい親子共々に力をもらっていますよ！
	先生方が子どもたちを想ってくれていることが伝わります。
	何か思った事や気づいた事は担任の先生に伝えさせて頂いています。

【観点別・主な保護者記述】（一部抜粋等含む）

連携 関連	学級では友だちと仲良く遊んだり、学習した様子を子どもから聞いています。しかし、下校途中に嫌なことを言われ、担任の先生に対応して頂いた後は、ほぼなくなったようでした。
	担任の先生は、とにかく優しいです。細やかな子ども観察をしてくれて、たくさん褒めてくださり、心が豊かになっていると感じます。ありがとうございます。
	友だちともちゃんと付き合えているのか不安ですが、今のところ本人に悩んでいる様子はないので、今後も見守って行きたいと思います。
	ケガをしたときの対応、とても迅速で助かりました。ありがとうございました。
	信頼できる先生方がいらっしゃるの、毎日安心して登校させられます。親子共々助かっています。
	学校での不安事を子どもが訴えることがあり、子どもと考えて担任の先生に伝えることがありました。先生がその事を受け止めてくださって子どもの心が落ち着いたようでした。子どもの想いを受け止めて、子どもに伝えてくださった先生に感謝しています。
	いつもお世話になり、ありがとうございます。懇談の時等、先生からお話を伺っておりますが、子どものことをよく見てくださっていることがわかります。いつも感謝しております。ありがとうございます。
	娘は学校での出来事を細かくたくさん話してくれます。思春期に入ってきた事もあり、学校生活の不満も言います。もっと楽しんでほしいなあと前向きになってほしいなあと、声のかけ方に悩んでいます。
	子どもとの会話や様子から心配に思ったことは担任の先生に相談させていただき、すぐに対応してくださるので、とてもありがたく思っています。
	学校でのトラブルがあった場合の担任の先生の対処が早く、子ども達に振り返る機会を与えてくださいました。いつも、子ども達をきちんと見てくださり、大変感謝しております。
要望	困ることもあるようですが、先生に話を聞いてもらったりすることで気持ちもスッキリし、次の活動に進めているようです。親として心配なことがあればお聞きしたり、すぐに先生から連絡を頂くことができ安心しております。1学期に比べ成長しているように感じます。いつも、ありがとうございます。
	担任の先生が替わる度に家庭学習をやる・やらないが変わるので、習慣化されません。家庭学習を習慣化してほしいので、学年などで統一して継続させるようにしてほしいと感じました。
	時間管理が下手でいつも注意をしています。学校では大丈夫なのか、参観日の時にでも教えてください。
	学級が騒々しくて授業に集中できないと言っているのをよく聞きます。
	宿題の形式が続いているのかわからなかったの、学級通信等で子どもたちの状況含めてご報告いただければ助かるなと思いました。
	感染症などで、長期間がっこうを休んでしまった子に対する授業のサポートをお願いします。
	学芸会の時に他の学年から入っていたりする人がいたし、自由だと並ぶ人も増えると思うので学年ごとに入場整理券のくじびきで入る順番を決めたら良いと思う。
その他	校内へ入りやすくてとても良いのですが、不審者も入りやすく子どもたちの安全面が心配です。
	お友達との言葉や気持ちの行き違いが増えてきたと感じています。
	タブレットでSNSなどを見ることを許していましたが、約束を守れず学習に影響がないか心配しております。友だちとの関係でも、解決が長引くようなら先生に相談するように伝えていきます。
	学芸会での子どもたちの発表に感動しました。日々、ご指導頂いている先生方本当にありがとうございます。コロナ禍では、楽しい経験や学年の交流から学べることを経験できずにきました。児童公開が終わって「6年生すごかったよ。」と話す息子の話から上級生の頑張りを見て得られるものは大きいなと感じました。自分たちの頑張り、成長とともに目標を見つけ、学べる大切な機会となったと思います。ありがとうございました。
	通院などで休み、勉強がかなり不安です。本人とは毎日話しています。
	算数の勉強で単元によっては、ついていけないと思います。家庭で声かけはしていますが、何か良い対策はないものかと・・・
	クラスの様子が違うことがあり、学校に行きたくないと言っており、お友達のケンカが気になるようです。
	保護者としても何とか学校に協力していきたいと思っております。（封筒はないのですか）
	学校の前の歩道など草が伸びて道を塞いでいます。子ども達がよけて歩いています。学校から言うこと出来ませんか？
	学級がうるさくて授業に集中できないと言っているのをよく聞きます。

☆南っ子・学習の様子☆

～R5 全国学力・学習状況調査から～

本校6年生が4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果の分析です。この分析の結果や考察は、日頃の授業改善に生かすことを目的に行っています。正答率が低かった問題の誤答傾向の分析を行い、今後の授業に生かすべき課題を焦点化していきます。

★こんなふうに学んでいます★

☆学習マナーを守る！

☆基礎・基本をしっかり！

☆自ら疑問を持ち、自ら解決！

☆友だちと協力する！

R5 全国学力・学習状況調査結果

	国語	算数
南小	67.0	66.0
北海道	66.0	61.0
全国	67.2	62.5

(正答率%)

なぜ、多くの子どもたちが間違っただろう？

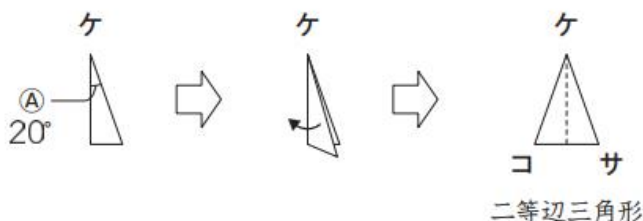
国語・算数で正答率が一番低かった問題を分析してみると……



算数



わたし
私は、(A)の角の大きさを 20° にしました。切って開いた三角形ケコサは、二等辺三角形になりました。



私は、切って開いた三角形を正三角形にするために、(A)の角の大きさをゆいなさんとちがう大きさにして切りました。

切って開いた三角形を正三角形にするには、(A)の角の大きさを何度にする
ればよいですか。

答えを書きましょう。

◇正答率・・・24.6%

◆誤答例◆

①60・・・27.9%

②15・・・0%

③120・・・0%

④45・・・11.5%

⑤90・・・8.2%

⑥20・・・1.2%

⑦40・・・18.0%

⑧無答・・・4.9%

□正解は 30°

60° と答えた人は正三角形の1つの角度がわかっている人だな。
でも、重ねているからその半分だと問題文を読み取れなかったんだね。
 40° と答えた人は「ゆいなさん」の例が 20° となっていて、開くからその
倍の 40° と考えてしまったかもしれないね。



算数の知識は持っているけれど、問題場面をよく読んで、考えることが必要
となってきます。問題の多くは身近な生活場面での出題が見られました。

基礎・基本の定着はもちろんのこと、できるだけ授業でも日常生活と結びつ
けた問題や発展的に考えられる問題に取り組むことが欠かせません。

国語

◇正答率・・・26.2%

◆誤答例 ※条件不足

①条件2つ不足・・・14.8%

②条件1つ不足・・・57.6%

③条件3つ不足・・・4.6%

④無 答・・・6.6%

※その他・・・字数不足

〔条件〕
○学校の米作りの問題点については、「川村さんの文章」のグラフ（農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量）と「カード④」のそれぞれから分かることを書くこと。
○問題点の解決方法については、「カード⑤」をもとにして書くこと。
六十文字以上、百文字以内にまとめること。

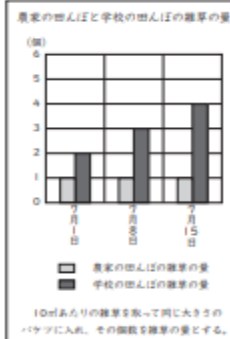
【川村さんの文章】

学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしょうかくすることができました。しょうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下旬に学校の田んぼになえを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、アいがいに雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼとイくらべてみました。ウさんは7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。



このようなことに取り組み、9月の下旬にお米をしょうかくすることができました。

二 川村さんは、選んだカードをもとに、次の「川村さんの文章」の問題点とその解決方法について書こうとしています。あなたが川村さんなら、どのように書きますか。おどの条件に合わせて書きましょう。

◎記述式に求められている条件とは？・出題された記述式問題【条件】の文末表現から

◆（グラフや文章など）から**わかった・わかること**を書くこと。【読解力】

◆（グラフや文章など）を**もとにして**書くこと。【引用力】

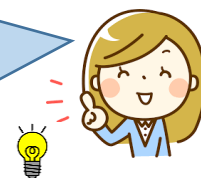
◆（グラフや文章など）から**言葉や文を取り上げて**書くこと。【語彙力】

◆これから**自分ができそうなこと**を書くこと。【発信力・作文力】



この問題は正解になる【条件】が3つあり、全てを満たしていないと正解にならない問題だね。間違った半数以上の人（57.6%）が【条件】の3つのうち2つまでしか満たしていなかったんだね。文だけでなくグラフからわかることを書くなど、国語の学習以外の力も必要なのかな。

記述問題の【条件】提示文の文末表現から、求められている力を推測すると【読解力】【引用力】【語彙力】【発信力】【作文力】となります。どの力も国語の学習だけでなく、いろいろな教科や学習活動でも求められますし、今後、習得と発展・探究のバランスのとれた授業が必要となってくると言えます。



【10月行事予定】

2日（月）視力検査週間（～10日）

5日（木）児童会任命式・全校集会

10日（火）児童総会

11日（水）体位測定（～18日）

12日（木）子ども文化祭 音楽発表

13日（金）縦割り班集会・専門委員会・あゆみ配布

14日（土）子ども文化祭 展示発表（～15日）

28日（土）学芸会（詳細は後日お知らせいたします）

光陵中学校区 CA文化祭

日時 10月7日（土）9:00～13:00

場所 北海道教育大学岩見沢校・教育研究所

すでにチラシの配布はしておりますが、光陵中学校区学校運営協議会による文化祭です。

当日は、音楽などの発表や軽食提供などの催しがありますので、どうぞお気軽にお越しください。